

環境 だより



可燃ごみの出し方

▽可燃ごみ袋は、なるべく交差点を避け、収集経路の進行方向に近い近所で固めて出してください（交通量の多い交差点は、収集車が他の車両の通行の妨げをしてしまうため）。

▽現在1世帯で可燃ごみを出されている場合、収集時間の効率化のため、ご近所で固めて出すよう協力をお願いします。

▽ごみ袋は、必ず大口町指定のごみ袋を使用してください。また、空き缶やビン、金属類、乾電池などの危険物は、絶対に入れないでください。これらが含まれている可燃ごみ袋は、収集できません。収集できない可燃ごみ袋は、ご近所の迷惑になりますので、絶対に分別をして出してください。

▽ねこなどに荒らされる被害がある

ため、必ず決められた曜日の朝に出してください。

可燃ごみの減量

▽容器包装プラスチック、缶、ビン、ペットボトルや新聞、雑誌、ざつがみ、衣類などは資源ごみとして決められた種類ごとに分別をすれば再利用をすることが可能になり、可燃ごみの減量にも繋がります。

▽買い物をするときは、ごみを捨てることも考え、本当に必要なものかよく考えて上手な買い物をしましょう。

シャンプーや洗剤などは、詰め替え商品を利用し、無駄な容器を減らしましょう。

▽料理は、食べ残しが出ないようにしましょう。台所から出る生ごみは水分を多く含むため、夏場は悪臭の発生原因になります。しっかりと水を切ってから捨ててください。

▽買い物に出かけるときは、マイバッグを持ち、レジ袋はもらわないようにしましょう。

カラス対策

カラス等に可燃

ごみを荒らされる被害が増加しています。カラス等は、臭いではなく視覚

でエサを探しますので、これらのことに一人ひとりが、配慮し、散乱防止に努めてください。

▽カラスのエサとなる残飯を減らしましょう。

▽可燃ごみ袋は、必ずカラス除けネットの中に入れてください。周りに重りを置くか、ネットで包み込むようにし、カラスがごみ袋を引きずりだせないようにしましょう。

▽民地などにスペースがある場合、カラス対策に大変有効な可燃ごみボックスを貸し出します。

※可燃ごみボックスは、7世帯以上の利用があり、設置基準を満たしている場所に、無償貸出をおこなっています。詳しくは、環境対策室までご相談ください。

問合せ先

環境対策室
95-1613



犬の優良 飼養者表彰

飼養者表彰

尾北狂犬病予防推進協議会では、次の要件に該当する犬の飼い主の方を「優良飼養者」として表彰します。

要件

- ①登録してから前年度末現在（令和3年3月31日時点）で、12年以上継続して同一犬を飼養し、当該犬が生存していること。かつ、狂犬病予防注射を毎年実施している方
- ②飼養期間中、こつ傷事故がなく、適正飼養している方
- ③過去に優良飼養者表彰を受けていない方

応募方法 要件に該当している方は、町から推薦しますので環境対策室へお申し込みください。

応募期限 8月2日（月）

※被推薦者については、尾北狂犬病予防推進協議会で審査の上、表彰者を決定します。

問合せ先

環境対策室 95-1613

